

Vol.119

この数字はなんだ？

# ナンバー・ナンダー

ご参考資料

2017年5月17日

ドイツ

2017年5月

**ZEW景況感指数**  
(期待指数)

の

の

です

20.6  
ポイント

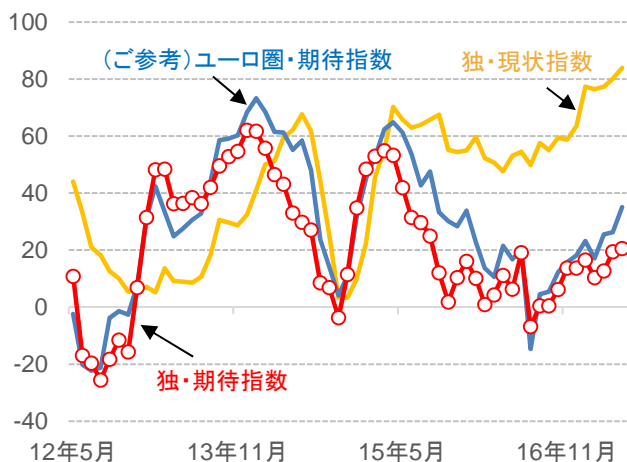
ZEW(欧州経済研究センター)が16日に発表した5月のドイツ景況感指数では、向こう6か月の景気見通しを示す期待指数が20.6ポイントと前月の19.5ポイントから1.1ポイント改善しました。市場予想の22.0ポイントを下回ったものの、2015年8月以来の高水準となりました。今月上旬のフランス大統領選で親EU(欧州連合)派のマクロン氏が勝利したことで政治的な不透明感が和らいだことなどから、景気の先行きに対する見通しが上向いたとみられます。

ZEW景況感指数は、約350人のアナリストや機関投資家などに対する調査を基に算出されます。調査項目は多岐にわたりますが、なかでも期待指数が注目されています。同調査は、製造業などの企業の景況感を幅広く調査するIfo景況感指数とともに、ドイツのGDPの約4分の1をカバーする重要な指標である鉱工業生産に先行する傾向があることに加え、Ifo景況感指数よりも通常1週間程度早く発表されることから、マーケットでの注目度の高い指標です。

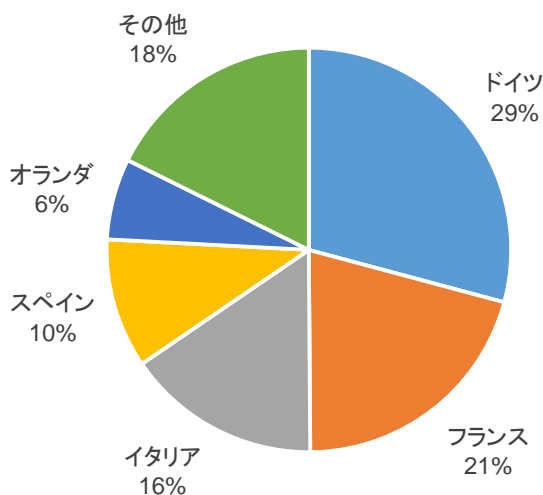
ユーロ圏全体に占めるGDPの割合が約29%(2016年時点)と域内最大であるドイツの動向は、ユーロ圏全体に影響を及ぼします。米国との貿易摩擦懸念やECB(欧州中央銀行)の緩和縮小によるユーロ高懸念などが今後の景況感の重しとなる可能性はあるものの、1-3月期のGDP成長率が過去1年で最大の伸びとなったほか、製造業が好調を維持していることなどから、ドイツ経済の勢いは続くとみられます。

## ZEW景況感指数の推移

(2012年5月～2017年5月)



## ユーロ圏の名目GDPに占める各国の割合(2016年)



(出所)IMF「World Economic Outlook, April 2017」

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。